

簡　単　嫌　気　培　養

アネロパック®

嫌気培養

アネロパック®・ケンキ ／ アネロパウチ®・ケンキ
嫌気指示薬

炭酸ガス培養

アネロパック®・CO_2 ／ アネロパウチ®・CO_2

微好気培養

アネロパック®・微好気 ／ アネロパウチ®・微好気

培地保存

アネロパック®・キープ／ アネロパウチ®・キープ

三菱ガス化学株式会社

嫌気培養　酸素濃度0.1%以下

炭酸ガス濃度15%以上

アネロパック®・ケンキ
アネロパウチ®・ケンキ

*白い紙包材の表面に褐色～黒色のシミが発生する場合がありますが、使用期限内であれば酸素吸収・炭酸ガス発生性能への影響はございません。



アネロパック・ケンキ

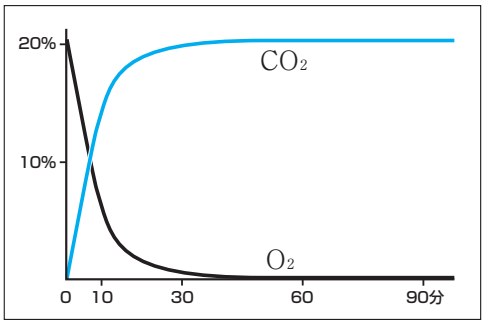


アネロパウチ・ケンキ



アネロパック・ケンキ(3.5L)

■アネロパック®・ケンキ によるガス濃度変化の例

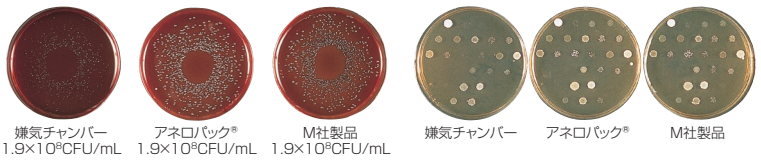


容量(L)	角型ジャー 大 型 7	3.5L 3.5	標準型 2.5	薄 型 0.4	パウチ袋 Wチャック付スタンディングパウチ	Wチャック付パウチ袋または専用パウチ袋
アネロパック・ケンキ(中/3.5L)		1個				
アネロパック・ケンキ	3個		1個		1個	
アネロパック・ケンキ10%			1個			
アネロパック・ケンキ5%			1個			
アネロパック・ケンキ(高温菌用) ※					1個	
アネロパウチ・ケンキ				1個		1個

※ 45℃以上での嫌気培養にご使用ください。

45℃以上での試験用には
アネロパック®・ケンキ(高温菌用)
をご使用ください。

Prevotella intermedia　　*OFLX 0.05μg/ml*



(写真提供:NTT東日本関東病院臨床検査部、(株)ビー・エム・エル)

炭酸ガス濃度7～15%

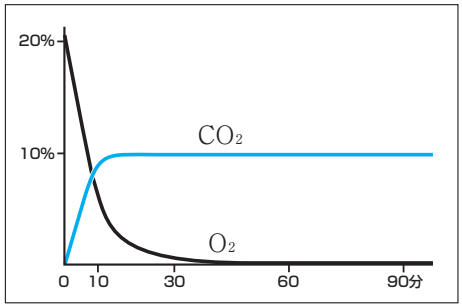
アネロパック®・ケンキ10%

炭酸ガス5%前後を5時間維持

要冷蔵保存

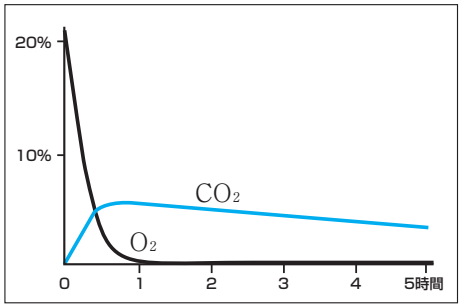
アネロパック®・ケンキ5%

■アネロパック®・ケンキ10% によるガス濃度変化の例



●アネロパック®・ケンキよりも低濃度の炭酸ガスを発生します。

■アネロパック®・ケンキ5% によるガス濃度変化の例



●用途:嫌気性菌の培養、細胞の低酸素実験など。
●CO_2濃度は約5時間維持され、その後低下します。

微好気培養

酸素濃度6～13%、炭酸ガス濃度2.5～9.5%

アネロパック®・微好気
アネロパウチ®・微好気

＊青い紙包材の色が抜けたようになり、部分的に白く見える場合がありますが、使用期限内であれば酸素吸収・炭酸ガス発生性能への影響はございません。



アネロパック・微好気



アネロパウチ・微好気（パウチ袋用）



アネロパウチ・微好気（薄型ジャー用）



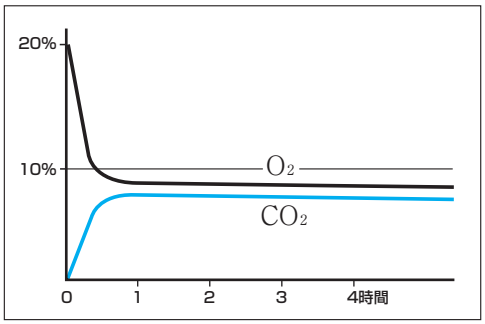
発売中止

アネロパック・微好気（3.5L）



アネロパック・微好気（7L）

■アネロパック®・微好気 によるガス濃度変化の例



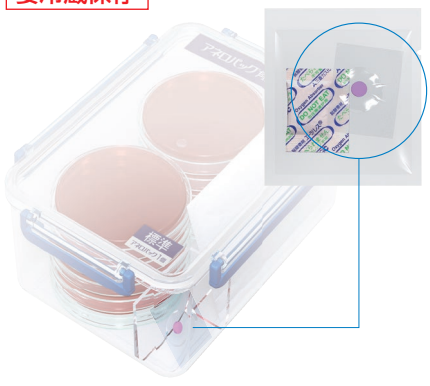
吸収した O_2 よりも少量の CO_2 が発生します。容器内はやや減圧され、ジャーの場合フタは少し開けにくくなります。

容量(L)	角型ジャー 大型 7	角型ジャー 3.5L 3.5	角型ジャー 標準型 2.5	角型ジャー 薄型 0.4	パウチ袋 Wチャック付スタンディングパウチ	パウチ袋 Wチャック付パウチ袋または専用パウチ袋
アネロパック・微好気(7L)	1個					
アネロパック・微好気(3.5L)		1個				
アネロパック・微好気			1個		1個 ※1	
アネロパウチ・微好気(薄型ジャー用)				1個		
アネロパウチ・微好気(パウチ袋用)						1個 ※2

※1 必ずシャーレラックを併用してください。
※2 パウチ袋の組み合わせで使用する場合は、必ずシャーレを2枚入れてください。
1枚だけ培養する場合でも、空のシャーレをもう1枚入れてください。

嫌気指示薬

要冷蔵保存



酸素の有無を色で確認できます。

- 角型ジャーの気密性確認のため、アネロパック(パウチ)・ケンキには嫌気指示薬のご使用をお勧めします。
- 常温便にてお届け致しますが、到着後は直ちに冷蔵庫に入れ、15℃以下で保存してください。
- 嫌気指示薬のフィルムの窓には小さな針穴が開いています。この針穴からガスが透過しますので、このままお使いください。
- 錠剤をフィルムから取り出して使わないでください。
- 嫌気指示薬の色変化は可逆ですが、変色能力が徐々に低下しますので再使用はできません。

アネロパック・ケンキ（高温菌用）、アネロパック・ケンキ5%には不向きです。

この間は酸素濃度により無段階にピンクとブルーの中間色を示します。

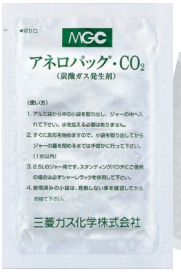
酸素なし（0.1%以下）　　酸素あり（0.5%以上）

※印刷物なのでピンクとブルーの色は実物とは若干異なります。

炭酸ガス培養

炭酸ガス濃度 約5%

アネロパック®・CO2
アネロパウチ®・CO2



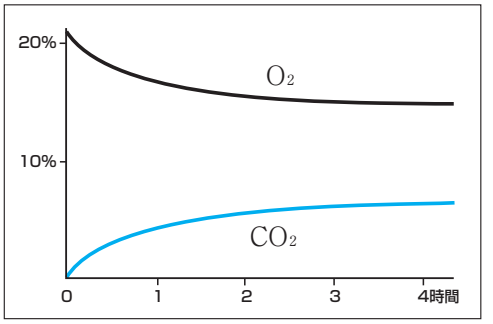
アネロパック・CO2

●角型ジャー(薄型)にもご使用ください。



アネロパウチ・CO2

■アネロパック®・CO2 によるガス濃度変化の例



	角型ジャー				パウチ袋	
	大 型	3.5L	標準型	薄 型	Wチャック付スタンディングパウチ	Wチャック付パウチ袋または専用パウチ袋
容量(L)	7	3.5	2.5	0.4		
アネロパック・CO2	3個	1個	1個		1個 ※1	
アネロパウチ・CO2				1個		1個 ※2

※1 必ずシャーレラックを併用してください。
※2 パウチ袋の組み合わせで使用する場合は、必ずシャーレを2枚入れてください。
1枚だけ培養する場合でも、空のシャーレをもう1枚入れてください。

使用上のご注意

(ケンキ・微好気・CO2共通)

●アルミ袋を破るとすぐに反応が始まります。内袋を取り出してから検体とともに密閉するまでの作業を、速やかに行ってください。(ジャー用…1分以内、パウチ袋用…30秒以内)

廃棄方法

●未使用品を廃棄する場合は、アルミ袋より取り出し、実験台の上などに重ならないように広げて30分ほど放置し、発熱が収まったことを確認してから捨ててください。

●使用済品は、余剰能力のため発熱することがあります。嫌気ジャー / 袋などから取り出し、実験台の上などに重ならないように広げて30分ほど放置し、発熱が収まったことを確認してから捨ててください。オートクレーブ処理を行う場合は、発熱が収まってから実施してください。

培地保存

培地の脱酸素保存用

●袋ごと冷蔵庫で保存できます。嫌気チャンバーでの保存に比べ、高温による培地の乾燥もありません。



スタンディングパウチ用 アネロパック®・キープ

大量保存用
1セット(=2個)の脱酸素剤でφ90mm シャーレが14枚まで



■スタンディングパウチでの保存

●空気を追い出して袋の上部を密閉クリップで閉じてください。

角型ジャーにはご使用になれません。



専用パウチ袋用 アネロパウチ®・キープ

少量保存用
1個の脱酸素剤でφ90mmシャーレが6枚まで



■専用パウチ袋での保存

●空気を追い出して密閉クリップで閉じてください。

薄型ジャーにはご使用になれません。

アネロパック・アネロパウチ

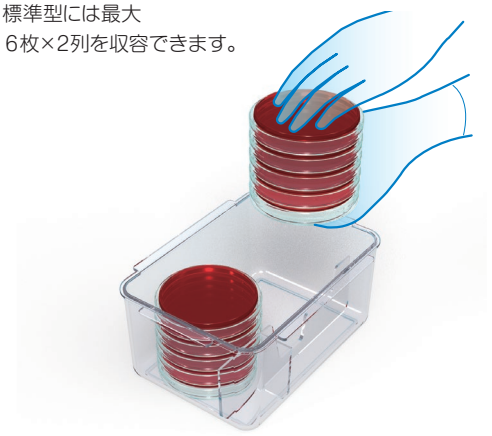
容器へのセット手順

アネロパック（ケンキ・微好気・CO_2）と角型ジャー

ジャーは、培養するシャーレの枚数に応じてお選びいただけます。

1 シャーレを入れる

標準型には最大
6枚×2列を収容できます。



▶2 アルミ袋を開封する

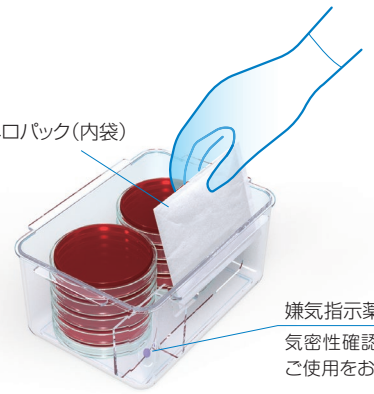
アルミ袋を手で開封し、
内袋を取り出します。



すぐに反応が始まります。
速やかに3、4へ。
（密閉が終わるまで1分以内）

▶3 内袋を入れる

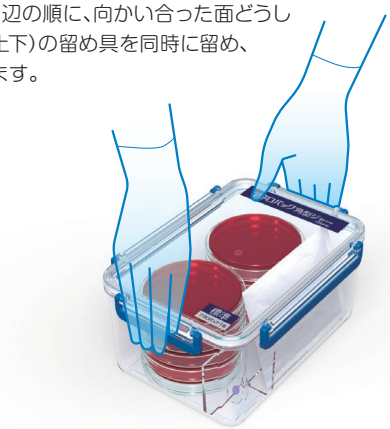
間仕切り部分に内袋を入れます。



気密性確認のため嫌気指示薬の
ご使用をお勧めします。

▶4 密閉する

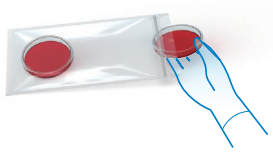
長辺・短辺の順に、向かい合った面どうし
（左右・上下）の留め具を同時に留め、
密閉します。



アネロパウチ（ケンキ・微好気・CO_2）とパウチ袋

1 シャーレを入れる

シャーレ2枚用です



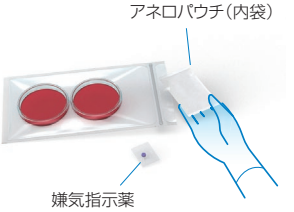
2 アルミ袋を開封する

速やかに3、4へ。
（密閉が終わるまで30秒以内）



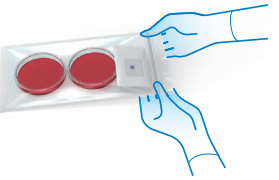
3 内袋を入れる

嫌気指示薬のご使用をお勧めします。



4 密閉する

チャックをしっかり留めます。



角型ジャー・Wチャック付パウチ袋

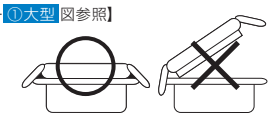
角型ジャーはふ卵器内で積み重ねが可能。Wチャック付パウチ袋なら簡単に密閉空間を作れます。

ご注意

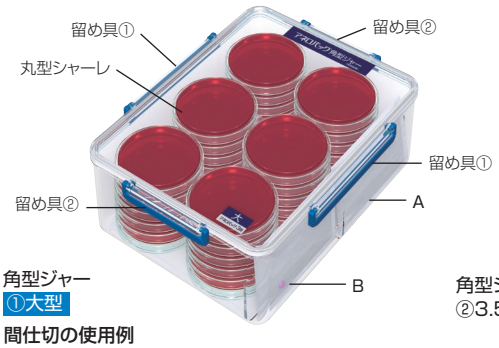
- ●角型ジャーに使用できるのはアネロパック® だけです。反応機構の異なる他社のガス発生剤はご使用になれません。
- ●角型ジャーは高温培養にはご使用になれません。スタンディングパウチをご利用ください。
- ●角型ジャーをオートクレーブにかけると変形する恐れがあります。
- ●角型ジャーの気密性を確保するため、パッキンおよびフタの溝部分に付着したゴミを時々掃除してください。

角型ジャーのフタの閉じ方・開け方

[閉じ方] フタを本体に正しく被せてから留め具を①②の順でそれぞれ2か所同時に掛けてください。片側の留め具を掛けてからフタを無理に閉めたり、フタが本体からずれた状態で留め具を掛けたりすると破損するおそれがあります。【角型ジャー ①大型 図参照】



[開け方] 発生した炭酸ガスが培地に溶け、多少陰圧になって角型ジャーのフタが開きにくくなることがありますが、その際はフタの4隅の1つを強く引っ張りあげてください。



角型ジャー
①大型



角型ジャー
②3.5L



角型ジャー
③標準型



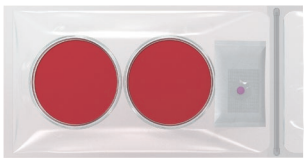
角型ジャー
④薄型

間仕切の使用例

A●剤を入れる
B●嫌気培養の際に嫌気指示薬を入れる。
●微好気培養の際に高湿にする場合は、水を20mL程度入れる。
水は直接入れるか、脱脂綿、濾紙などに含浸させる。



⑤Wチャック付スタンディングパウチ袋



⑥Wチャック付パウチ袋

角型ジャー		内寸(mm)/収容可能枚数※
①大型	7リットル	W213×L280×H112
	丸型シャーレ：42枚	角1号シャーレ：12枚
②3.5L	3.5リットル	W170×L240×H80
	丸型シャーレ：15枚	角1号シャーレ：4枚
③標準型	2.5リットル	W135×L197×H95
	丸型シャーレ：12枚	—
④薄型	0.4リットル	W135×L197×H18
	丸型シャーレ：2枚	—

ジャーの原料/本体・フタ：ポリカーボネート、留め具：ポリアセタール
原料としての耐性/耐熱温度：140℃、 耐冷温度：-30℃

★フタのみ、パッキンのみの販売もしています。
★取っ手が破損した場合はスペアのパーツを準備しております。
詳しくはお問い合わせください。

パウチ袋	外寸(mm)/収容可能枚数※
⑤Wチャック付スタンディングパウチ袋	W220×L320 丸型シャーレ：12枚

微好気培養・炭酸ガス培養の場合は、袋内の容積を保つため、必ずシャーレラックを併用してください

⑥Wチャック付パウチ袋	W155×L300 丸型シャーレ：2枚

微好気培養・炭酸ガス培養で1枚だけ培養する場合は、袋内の容積を保つため、必ず空のシャーレをもう1枚入れてください

※シャーレの厚みにより異なります。

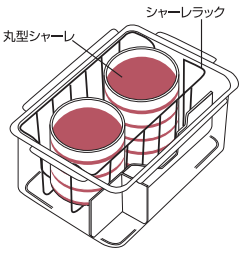
試験管立て(ステンレス製)

- ●3列×4=12本までの試験管を立てられます。
- ●直径18mmまでの試験管に適用（開口径19mm）。



角型ジャー(標準型)での使用例

シャーレラック(ステンレス製)



■角型ジャー用
収容可能枚数
丸型シャーレ(薄型)…10枚

■スタンディングパウチ用
収容可能枚数
丸型シャーレ(薄型)…12枚



●使用期限は製品本体（アルミ袋）もしくは化粧箱に表示してあります。
●本カタログに記載した製品のデザイン、仕様などは改良のため予告なく変更させていただく場合がございますのでご了承ください。
●角型ジャー・W チャック付パウチ袋、シャーレラック、試験管立てはISO9001品質管理・保証システムの認証範囲外です。

[製造元] 三菱ガス化学株式会社
〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2　三菱ビル
TEL.03-3283-4819　FAX.03-3287-1785
webサイト●https://www.mgc.co.jp/
メールアドレス●anaeropack@mgc.co.jp

[販　売] since 1932 株式会社スギヤマゲン
〒113-0033 東京都文京区本郷2-34-9
TEL.03-3814-0285　FAX.03-3815-3045
webサイト●http://www.sugiyama-gen.co.jp/
メールアドレス●mail@sugiyama-gen.co.jp

QUALITY SYSTEM CERTIFICATION DNV·GL ISO 9001

'18.08.3000